

各種ログ及びリンク先等の所在

JTDX Log

C:\Users\¥Ham¥AppData¥Local¥JTDX¥

WSJT-X Log

C:\Users\¥Ham¥AppData¥Local¥WSJT-X¥

JTAlert

C:\Users\¥Ham¥AppData¥Local¥HamApps¥JF1WLK¥logs¥JTAlertX¥B4log.mdb

C:\Users\¥Ham¥AppData¥Local¥HamApps¥JTAlert.ini

QSO済確認用Log FiLe

C:\Hamlog¥ADIF¥JTAlert_ADIF.ad

JT_linker

C:\Users\¥Ham¥AppData¥Local¥JA2GRC¥JT_Linker¥

JTDX専用ログ内容

202106_ALL.TXT

wsjtx.log (in comma-separated text format)

wsjtx_log.ad

JTDX.ini

wsjtx_wisdom.dat

CALL3.TXT

lotw-user-activity.csv

cty.dat

1. 新しいEntityデータ (cty.dat) の取得

ダウンロード先urlは <https://www.country-files.com/>

最初に到達したページで CTY-xxxxの新しい番号を見つけて Download : CTY-xxxxリンクをクリックします。

現在、May 4のCTY-3111が最新の様です。CTY-3111.zipファイルがダウンロードされますので

そのファイルを解凍してcty.datなるファイルを抽出します。

補足ですが

Big CTY の[download]からzipファイルをダウンロードしても可能です。

2. 新しいLoTWユーザーリスト (lotw-user-activity.csv) の取得

ダウンロード先urlは <https://lotw.arrl.org/lotw-user-activity.csv>

一週間に一度くらいのアップデートを行っているようですがユーザーは頻繁にアップデートしなくとも支障はないでしょう。

3. JTDXにそれらのファイルを貼り付け

JTDXを起動します。そのメニューバーから File -> Open log directory をクリックしてJTDXのユーザーディレクトリーを開きます。

JTDX.iniやログファイルが保存されているところです。そして、先に取得した cty.dat, lotw-user-activity.csvファイルを貼り付けます。

仮に既に同じファイルがある場合には上書き保存します。

4. JTDXの再起動

補足説明(JTALertでのリンク先の場所)

JTDX

jtdxexe

c:¥JTDX64¥156¥bin¥jtdx.exe

JTLinker

JT_Link.exe

c:¥Program Files(x86)¥JA2GRC¥JT_Link¥JT_Link.exe